

事前評価チェックシート

計画の名称： 立山町の安全で安心な通学路と暮らしを支えるまちづくり（防災・安全）

[illegible]

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年12月15日

計画の名称	立山町の安全で安心な通学路と暮らしを支えるまちづくり（防災・安全）																			
計画の期間	令和０５年度　～　令和０９年度（５年間）										重点配分対象の該当	○								
交付対象	立山町																			
計画の目標	通学路を中心に、主に歩行者や自転車の安全性に繋がる道路整備をすることで、安全で安心なくらしを支えるまちを形成する。 継続的に通学路の安全を確保するため、立山町通学路交通安全プログラムに基づき安全対策の改善・充実を行う。																			
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		2,595		A	2,595		B	0		C	0		D	0		効果促進事業費の割合 C / （ A ＋ B ＋ C ＋ D ）	0		%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		5	7	9
1	・交通事故発生件数を、令和5年度から令和9年度までに約3%減少させる。 各年の立山町の交通事故発生件数から減少率を算出する。 （交通事故発生件数減少率）＝（R4交通事故発生件数－評価時点の交通事故発生件数）／（R4交通事故発生件数）×100	0%	2%	3%
2	・通学路合同点検における要対策箇所（交通安全プログラム）の対策率を100%へ増加（上昇）させる。 各年の立山町の要対策箇所数から対策率を算出する。 （要対策箇所対策率）＝（評価時点の対策済み箇所数）／（R4要対策箇所数）×100	24%	62%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○

A 基幹事業

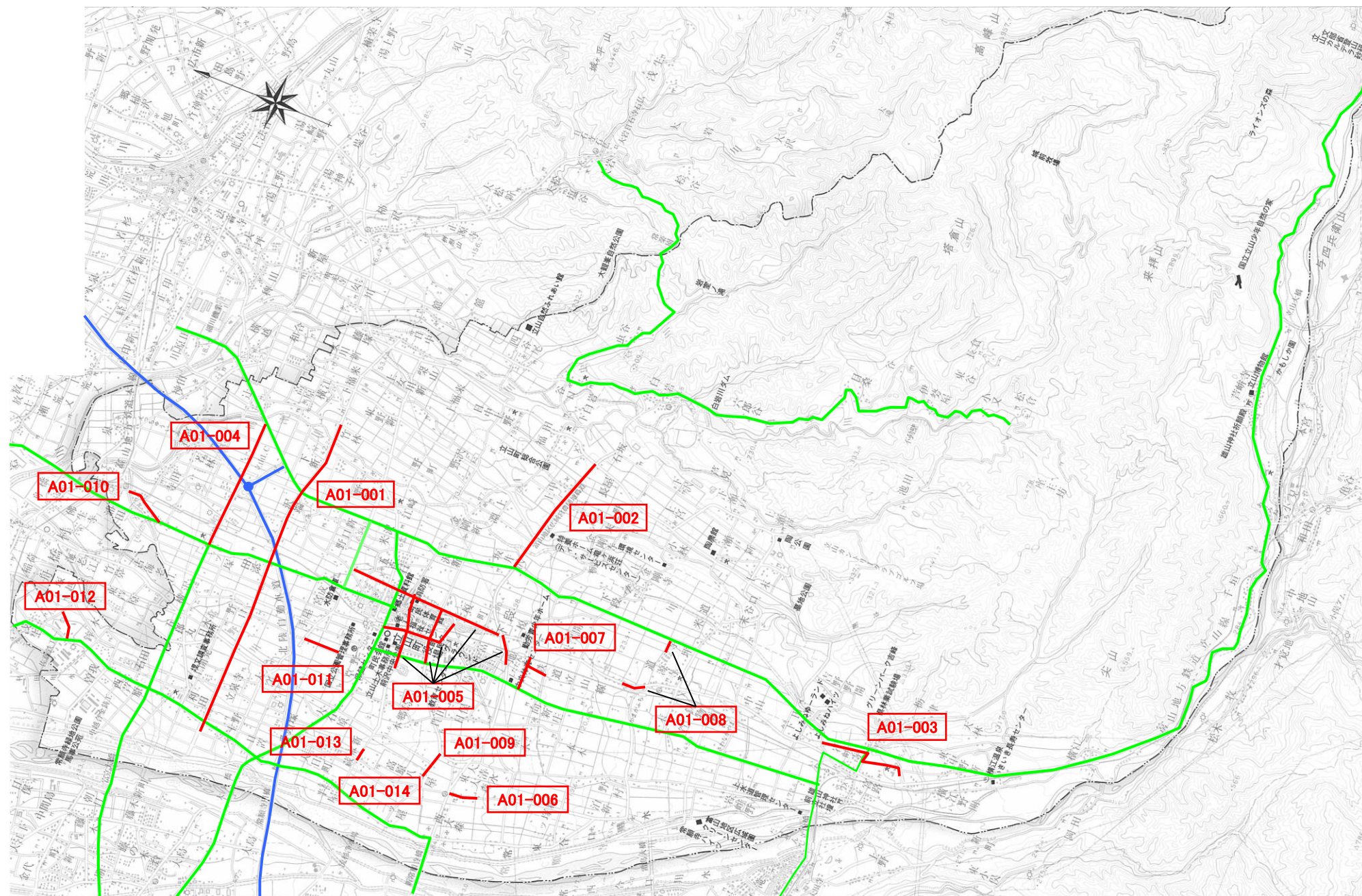
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村 道	交安	（ １ ）日中田添線外 端外	路側帯カラー舗装・歩道整備 4.45km	立山町	■	■	■	■	■	990		-
	A01-002	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村 道	交安	（ １ ）坂井沢白岩線 坂 井沢・上中・石坂	歩道整備 1.43km	立山町	■	■	■	■	■	400		-
	A01-003	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村 道	交安	（ 他 ）岩峠寺宮路線外 宮路外	路肩拡幅 1.46km	立山町	■	■	■	■	■	140		-
	A01-004	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村 道	交安	（ １ ）二ツ塚辻線 若宮 ・辻	側溝改修 1.70km	立山町	■	■	■	■	■	100		-
	A01-005	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村 道	交安	（ ２ ）上前沢線外 前沢 外	路側帯カラー舗装・側溝改修 5.52km	立山町	■	■	■	■	■	225		-
A01-006	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村 道	交安	（ 他 ）泊東大森線 東大 森	側溝改修 0.13km	立山町	■	■	■	■	■	40		-	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-007	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村 道	交安	（他）大清水榎線外 向 新庄外	路肩拡幅 0.46km	立山町	■	■	■	■	■	90		-
	A01-008	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村 道	交安	（他）末三賀道源寺線外 末三賀外	路肩拡幅 0.48km	立山町	■	■	■	■	■	60		-
	A01-009	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村 道	交安	（他）大清水高原八ツ屋 線 大清水外	路肩拡幅 0.18km	立山町	■	■	■	■	■	100		-
	A01-010	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村 道	交安	（他）泉沢端線外 寺田	路肩拡幅 0.58km	立山町	■	■	■	■	■	150		-
	A01-011	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村 道	交安	（他）前沢榎線 大窪外	道路拡幅・側溝改修 0.48km	立山町	■	■	■	■	■	110		-
A01-012	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村 道	交安	（他）塚越 1 号線 塚越	路肩拡幅 0.36km	立山町		■	■	■	■	90		-	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-013	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村 道	交安	（一）菰原半屋線 蔵本 新	道路拡幅 0.1km	立山町		■	■	■	■	50	-	
	A01-014	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村 道	交安	（他）大清水高原八ツ屋 線 大清水外（期）	道路拡幅 0.12km	立山町		■	■	■	■	50	-	
											小計							2,595	
											合計							2,595	

(参考図面)

計画の名称	47 立山町の安全で安心な通学路と暮らしを支えるまちづくり（防災・安全）		
計画の期間	令和5年度～令和9年度（5年間）	交付団体	立山町



— A01 通学路整備

交付金の執行状況

(単位：千円)

	R5	R6	R7	R8	R9
配分額 (a)	120,755				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	120,755	0	0	0	0
前年度からの繰越額 (d)	60,103				
支払済額 (e)	132,612				
翌年度繰越額 (f)	48,246				
うち未契約繰越額 (g)	36,087				
不用額 (h=c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i=(g+h)/(c+d)) %	20%				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	設計協議の調整が難航したため				

事前評価チェックシート

計画の名称： 地域の生活環境の向上による「住みよさが実感できるまちづくり」

[illegible]

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和06年01月29日

計画の名称	地域の生活環境の向上による「住みよさが実感できるまちづくり」															
計画の期間	令和06年度～令和10年度（5年間）												重点配分対象の該当			
交付対象	立山町															
計画の目標	地域の安全性向上や交流促進等につながる道路整備とともに、これらと相乗効果が期待できる生活環境整備等を字っすすることにより、「住みよさが実感できるまち」を形成する。															
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		838	A	838	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）			0	%

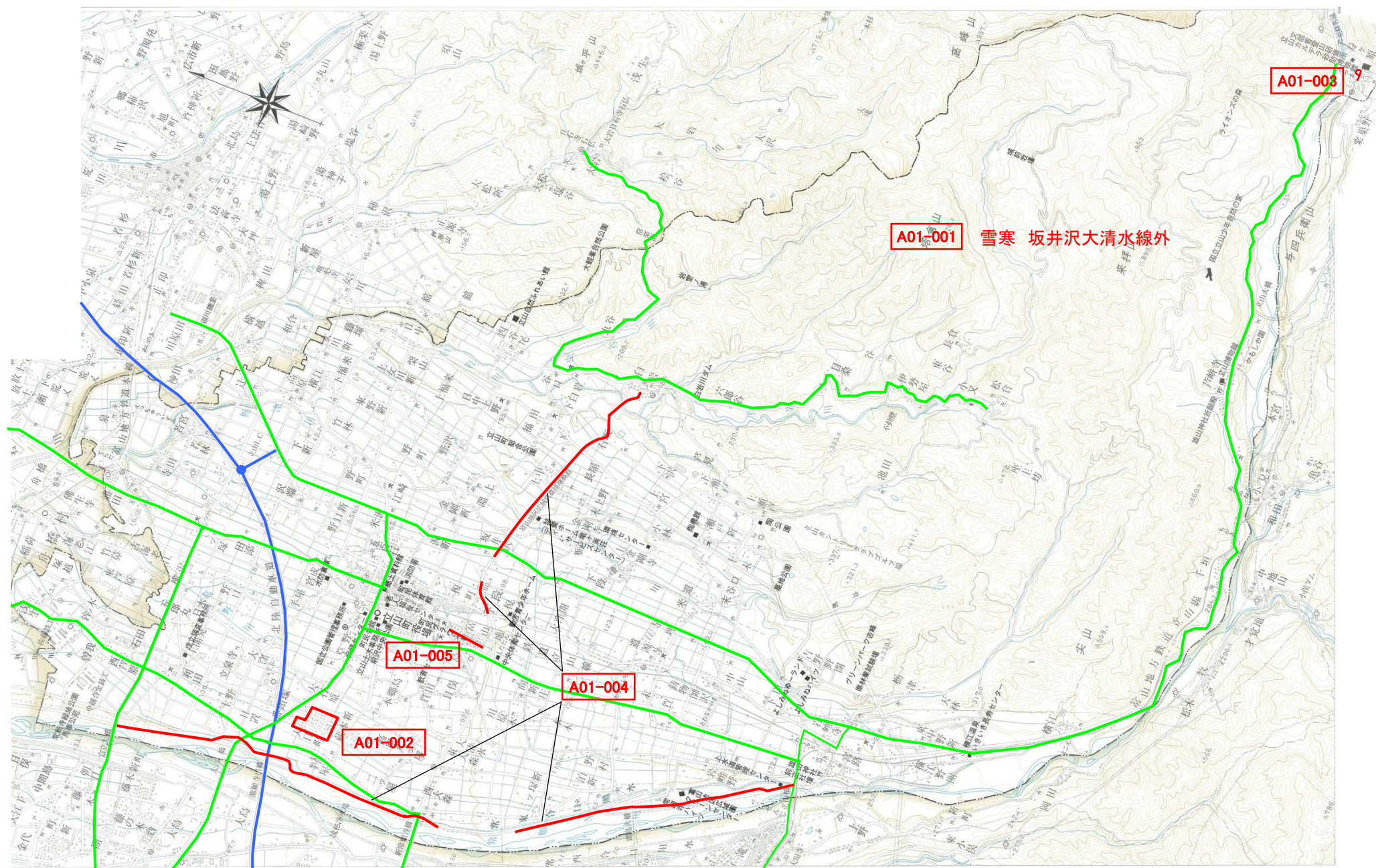
番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R6当初	R8末	R10末
1	・交通事故発生件数を、令和6年度から令和10年度までに約3%減少させる。 各年の立山町の交通事故発生件数から減少率を算出する。 （交通事故発生件数減少率）＝（R5交通事故発生件数－評価時点の交通事故発生件数）／（R5交通事故発生件数）×100			
		0%	1%	3%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村 道	雪寒	（他）坂井沢大清水線外 榎外	消雪更新 1式	立山町	■	■	■	■	■	143		-
	A01-002	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村 道	改築	（他）大石原蔵本新線外 大日町外	現道拡幅 3.7km	立山町	■	■	■	■	■	46		-
	A01-003	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村 道	改築	（他）千寿ヶ原ロータリ ー線外 千寿ヶ原外	現道拡幅 0.5km	立山町	■	■	■	■	■	91		-
	A01-004	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村 道	改築	（他）利田日置線外 利 田外	現道拡幅 13.4km	立山町	■	■	■	■	■	508		-
	A01-005	道路	一般	立山町	直接	立山町	市町村 道	改築	（他）日俣団地 1 号線外 柿の木沢	現道拡幅 0.5km	立山町		■	■	■	■	50		-
										小計						838			
											合計						838		

(参考図面)

計画の名称	9 地域の生活環境の向上による「住みよさが実感できるまちづくり」		
計画の期間	令和6年度～令和10年度（5年間）		交付団体 立山町



交付金の執行状況

(単位：千円)

	R6	R7	R8	R9	R10
配分額 (a)					
計画別流用増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)	0	0	0	0	0
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h=c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i=(g+h)/(c+d)) %					
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					